

市民図書館所蔵のおすすめの本「2020年12月」

12月のおすすめの本

読書は、広い世界を知り、心の世界を豊かに育み、大きな楽しみを与えてくれます。
 日々成長する子どもたちにとって読書は、健やかな人間形成の手助けをしてくれます。
 大分市民図書館司書が選んだ今月のおすすめの本です。

児童書



『ほしのこども』

メム・フォックス 文/フレア・
 ブラックウッド 絵

〔岩波書店〕

ある日、空から小さな星が落ちてきました。その星は、あかんぼうになって“ほしのご”と呼ばれるようになります。“ほしのご”は周囲の人々から愛され、成長し、そして老い…。そんな“ほしのご”の一生を柔らかい絵と優しい文で描いていて、読んだ後はとてもほのぼのとした温かい気持ちになります。おやすみ前の読み聞かせにもぴったりです。



『たぬきのいとぐるま』

立原えりか 文/松永禎郎 絵
 〔ひかりのくに〕

むかし、山奥にきこりの夫婦が住んでいました。おかみさんは、夜になると糸車で糸を紡ぎます。その様子を破れた障子から除いている目玉が二つ。その目玉の正体はたぬき。おかみさんとたぬきの心の交流がほんのりと感じられる絵本です。

一般書



『覚えておきたい横綱の顔』

本間康司 絵と文
〔清水書院〕

長い大相撲の歴史の中で、横綱の称号を受けたのはわずか72人だそうですが、皆さんは何人の名前を知っていますか。この本は、歴代の横綱を似顔絵と簡潔なエピソードで紹介した本です。横綱だけでなく、横綱と同時代に活躍した“印象に残った力士”も紹介しているので、当時のことを思い出す方もいるのではないのでしょうか。横綱伝達式の口上も豆知識として載っています。



『都道府県別ご当地ソング大百科』

合田道人 著
〔全音楽譜出版社〕

大分県を舞台に歌われるご当地ソングは？と聞かれて口ずさむ歌はどんな歌ですか。演歌、童謡、フォーク、アニメソング…。この本は著者が県民性を加味しながら都道府県別にご当地ソングをランキング形式で紹介しています。歌にまつわるこぼれ話や、方言のコーナーもあり、歌を知らなくても楽しく読むことができます。

お問い合わせ

教育委員会事務局教育部社会教育課大分市民図書館

電話番号：(097)576-8241

ファクス：(097)544-5615

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

電話番号 097-534-6111(代表) 097-534-6119(時間外) 法人番号4000020442011

開庁時間：月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分（祝日・休日および12月29日から1月3日を除く）

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.